【文例3】

解雇予告手当を請求する通知書

30日前に解雇予告がない場合(退職の意思がある場合には)、30日以上の平均賃金(解雇予告手当)を請求することができます。解雇予告の日数は1日分の平均賃金が支払われれば1日短縮されますので、例えば10日前の通知であれば、少なくとも20日分の平均賃金は解雇予告手当として請求することができます。

平均賃金の計算式 (原則)

平均賃金 = 直前の賃金締切日より起算した3か月間の賃金総額 算定すべき事由の発生した日以前3か月間の総暦日数

ただし、日給、時間給、出来高払の場合には、分母に当たる部分を実労働日数に変えて計算し、それに 0.6 をかけた数値と、原則で計算した数値との高い方を採用します。

(※ 平均賃金の計算がご不明な場合には、労働委員会事務局までご連絡ください。)

ポイント

- ・労働基準法違反であることを記載すること。
- ・請求する金額、入金期限、入金方法等を明記すること。

例文

								通	知	書									
	私	は	`	元	号	\bigcirc	年	\bigcirc	月	\bigcirc	日	`	貴	社	か	ら	×	×	×
×	を	理	由	に	元	号	\bigcirc	年	\bigcirc	月	\bigcirc	日	付	け	で	解	雇	す	る
日	の	通	知	を	受	け	ま	L	た	0									
	L	か	L	,	労	働	基	準	法	で	は	,	労	働	者	を	解	雇	す
る	場	合	で	3	0	日	以	前	に	予	告	を	L	な	6.1	ک	き	は	,
3	0	日	分	以	上	の	平	均	賃	金	を	支	払	う	ح	と	が	義	務
付	け	ら	れ	て	í ý	ま	す	0											
	L	た	が	つ	て	`	3	0	日	に	満	た	な	<i>i</i> √	期	間	分	`	解
雇	予	告	手	当	と	し	て	金	\bigcirc	\bigcirc	円	を	請	求	ζ,	た	L	ま	す。
	元	号	\bigcirc	年	\bigcirc	月	\bigcirc	日	ま	で	に	`	上	記	金	額	を	私	の
П	座	\bigcirc	\bigcirc	銀	行	\bigcirc	\bigcirc	支	店	普	通	預	金	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
に	入	金	L	て	<	だ	さ	6.1	0										
	な	お	`	期	限	ま	で	に	入	金	が	な	6.1	場	合	に	は	`	労
働	基	準	監	督	署	^	の	通	告	他	`	法	的	手	続	を	と	り	ま
す	の	で	`	あ	5	か	じ	め	ご	承	知	<	だ	さ	ζ,	0			
		元	号	\bigcirc	年	\bigcirc	月	\bigcirc	日										
							高	知	県	\bigcirc	\bigcirc	市			町			番	地
													\bigcirc	\bigcirc		\bigcirc	\bigcirc		
	高	知	県			市			町										
		株	式	会	社	\triangle	\triangle												
			代	表	取	締	役		\triangle	\triangle		\triangle	\triangle		様				